

双葉町世代別会議（ワークショップ）

～ワークショップで町民の方から
寄せられた意見・提案～

総 集 編

平成26年1月



双 葉 町

目 次

第1回	11月15日（金）	加須市	2ページ
第2回	11月16日（土）	つくば市	6ページ
第3回	11月17日（日）	東京都	10ページ
第4回	11月22日（金）	いわき市（勿来）	14ページ
第5回	11月23日（土・祝）	白河市	18ページ
第6回	11月24日（日）	郡山市	24ページ
第7回	12月 6日（金）	福島市	30ページ
第8回	12月 7日（土）	南相馬市	38ページ
第9回	12月 8日（日）	いわき市（平）	44ページ

双葉町世代別会議（ワークショップ）

～ワークショップで町民の方から寄せられた意見・提案～ について

この総集編は、平成25年11月15日から12月8日にかけて、全9会場で実施された世代別会議（ワークショップ）において町民の方から出された意見・提案をまとめたものです。

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、世代別会議では「きずなの再生やコミュニティのあり方」をテーマにして、同じ世代の町民の方同士がグループワークを行い、ワークショップ形式で話し合い、課題の解決方法を討議しました。

これらの意見・提案は、町民の方の貴重なご意見として「双葉町復興まちづくり計画（第一次）」の事業計画（実施計画）の検討に反映されます。

報告書の内容（読み方）

1. 実施会場ごとに、実施した順に概要を整理しています。
2. 各グループで話し合われた「意見・提案」は、各意見を1枚の付せん紙に記入し、1枚の模造紙にまとめました。この報告書では模造紙の内容を1ページに整理しています。
3. カラーで四角囲みしたものが、町民の方の「意見・提案」です。原文のまま掲載しています。

<世代別会議の参加者数>

回数	期 日	会 場	参加者数	グループ数
第1回	11月15日（金）	加須市	15人	2グループ
第2回	11月16日（土）	つくば市	3人	1グループ
第3回	11月17日（日）	東京都	9人	2グループ
第4回	11月22日（金）	いわき市（勿来）	13人	2グループ
第5回	11月23日（土・祝）	白河市	15人	3グループ
第6回	11月24日（日）	郡山市	17人	2グループ
第7回	12月 6日（金）	福島市	24人	4グループ
第8回	12月 7日（土）	南相馬市	14人	3グループ
第9回	12月 8日（日）	いわき市（平）	18人	3グループ

世代別会議加須市会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第1回概要

開催日：平成25年11月15日（金）

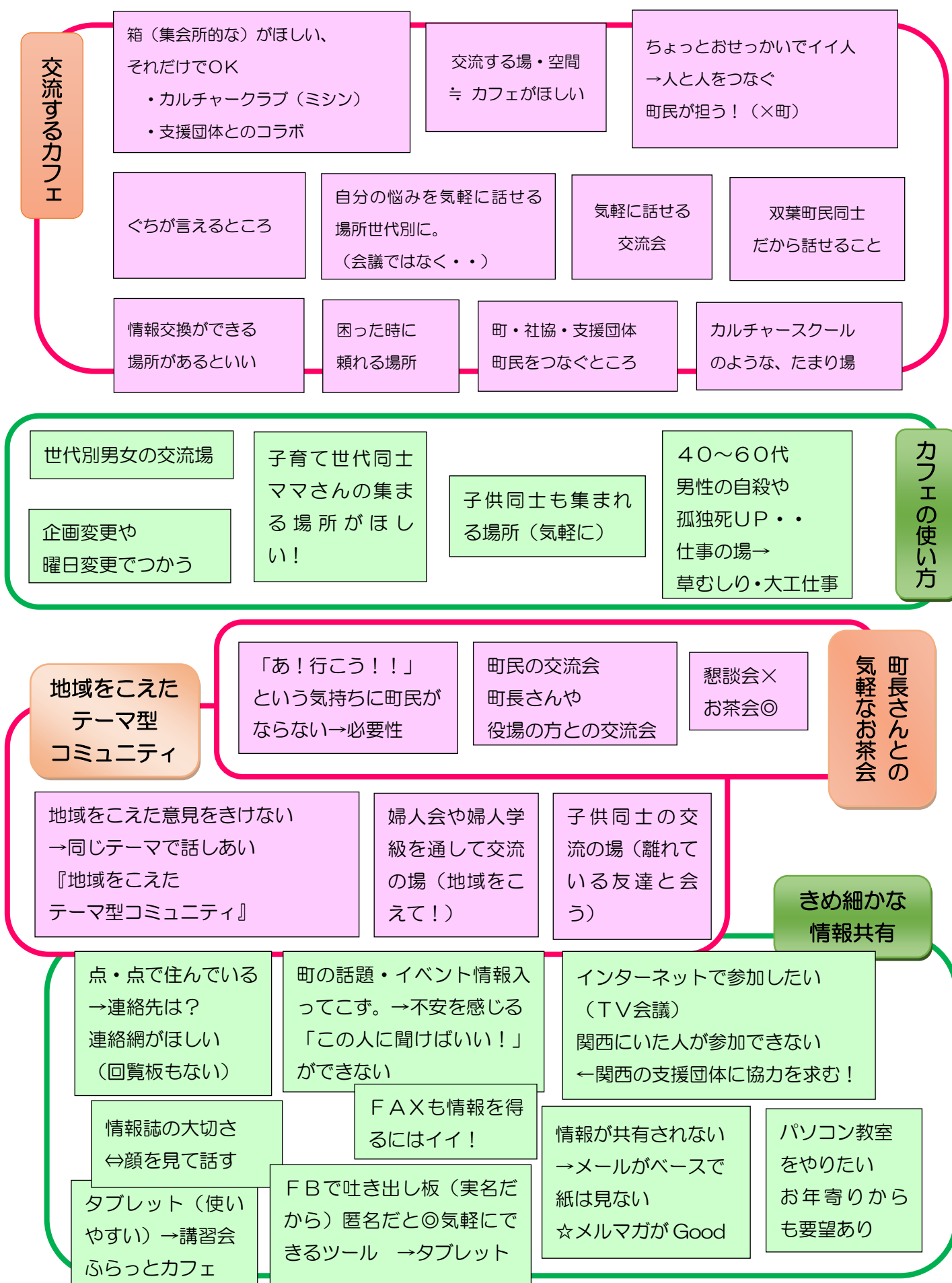
時間：13:00～17:00

場所：パストラルかぞ 2階 研修室1（埼玉県加須市上三俣2255）

参加者：町民15名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。





本日の要望に対して
期日を決めた回答を求む

借り上げ住宅は長くして
ほしい（復興住宅を加須市
にお願いしたい）

町に帰還は安全・安心に
なってからするべきだ。

双葉町にいつ帰れる
かははっきりしてくだ
さい。帰りたいので。

今まで何度となくこの様な会議
がなされて来ましたが思う。
個人の考えが年々変わって来る
と思う。今、行政として進む方
向を示してほしい。

双葉町に帰りたい。
でも帰れない。

いつ帰れるか
はっきりしてほしい

促進住宅に世話になっておりま
す。行政は避難者に対してとても
良く対応して頂いております。今
年で3回お米も戴きました。あり
がとう。

要望

場所の提供

サークルをする場合の支
援を願う

誰でも使える集會
所が欲しい

当面避難先に自治会を立
ち上げよう。

自治会にしてほしい
町民だれでも参加OK

年々絆が薄れていくよ
うに思う。皆さんがい
つでも集まれる場所が
ほしい。

いわきのひだまり
のような場所がほ
しい

医療

成人病検査は希望する病
院で出来るようにしてほ
しい。

医療費の減免の延長を
お願いしたい

共有できる電話張
自由に使える

2Gは全員番号の
公開OK

定期的イベント（交流
会）を実施していく

避難先の催し物に町での
対応をお知らせいただ
けると参加しやすい

重要なお知らせは単品で
出してほしい（月2回に
こだわらず）

各集を開く交通費は別
としても宿泊費を出して
ほしい。（行政区により差
があるため）

高齢・一人暮らしに安心コール
をしてみてもは。老人に対する呼
びかけ（特に一人暮らし）

月1回位の町会議員
とのコミュニティを
はかってほしい

月1回か2か月に
1回は子供たちと
親の会
親子さんたちのス
トレス解消する場
を作してほしい

高速道路無料化の延長を
お願いしたい。

外に出たい人たちの足
（車）の手配とか

情報の円滑化

会場でのアンケート結果

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

(30～50 歳代の女性グループ)

- ・誘いを受けて。 ・誘いを受けて。
- ・避難先のコミュニティづくりに協力したいから。
- ・世代別会議などを通じて復興まちづくり。
- ・町民とのつながりを作っていきたいと思い参加しました。
- ・町とのコミュニケーションの絆のありがたさを見たいために参加しました。
- ・参加してよかった。町の町長の考え、これからの双葉のことを少しでも聞きたいことでした。

(60～70 歳代のシニアグループ)

- ・町民同士の意見交換。 ・情報が欲しいので。
- ・今の現状を知ってもらいたい。
- ・これから双葉町がどのような方向に進むのかよくお聞きしたい。 ・双葉町の現状を知りたい。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

(30～50 歳代の女性グループ)

- ・はい。 ・出来たと思う。
- ・たぶん。 ・出来ました(少し)。
- ・しゃべりなれていないので、ときどきしながら発言しました。
- ・意見は意見、かならず実行してください。

(60～70 歳代のシニアグループ)

- ・出来ました。
- ・まだ話したいことがあるので、直接町長へ話すつもりです。
- ・出来ない。 ・自分ではできたと思う。
- ・一部できた。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

(30～50 歳代の女性グループ)

- ・はい。 ・はい。 ・理解できました。
- ・たぶん。 ・出来ました。
- ・町長は、県、国に対して、ペーパーで出さず、自分の足で取り組んでほしい。

(60～70 歳代のシニアグループ)

- ・少人数のため少し議論ができた。 ・理解できた。
- ・町長とよく話し合いができた。また聞いてほしい。

・町長を初め、役場職員の方々、一生懸命、双葉町のために頑張っている様子がわかりました。今後とも、よろしくお願いします。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

(30～50 歳代の女性グループ)

- ・もっと人数が集まれば、意見ももっと出たかと思う。
- ・もっと多くの世代の話が聞けるとよいと思う。
- ・この会議を開くことを知らない人が多い。
- ・少しずつ、このような場をもうけてもらい、これからいろいろな意見を話し合っていきたいと思います。
- ・この会議を定期的に行っていただくと助かります。
- ・このワークショップを何回もしてほしい。

(60～70 歳代のシニアグループ)

- ・周知の方法(知らない人が多い)。単品で案内を出したらどうか。そして実行です。
- ・町長ばかりでなく、町議員も出席するとよい。
- ・もう少し多く出席する人がいたらと思いました。
- ・もっと多くの方の参加をお願いしたい。いつも少なすぎる。
- ・自分ではわからなかった。他からの情報でわかった。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

(30～50 歳代の女性グループ)

- ・堅苦しくなるのかと思っていましたが、そんなことは全くなく、よかったと思います。どんどん多くの双葉町民に参加してほしいと思います。

- ・開催の徹底した周知が必要だと思う。
- ・楽しかった。
- ・県外ということで離れているので、福島県内にいる双葉の町民と近くに感じるものがほしいです。

- ・必ず実行、加須市の町民を忘れないでください。

(60～70 歳代のシニアグループ)

- ・やはり1つでも2つでも実行が必要ではないか。
- ・聞きっぱなしに取られることが問題で、次回からは出てこなくなる。
- ・顔を見せることが非常に大事と考えます。
- ・双葉町には必ず春が来ると信じている。
- ・いわきに行きたいが、土地が高く行くことができない。

編集：双葉町町民世代別会議
ワークショップ・スタッフ

世代別会議つくば市会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第2回概要

開催日：平成25年11月16日（土）

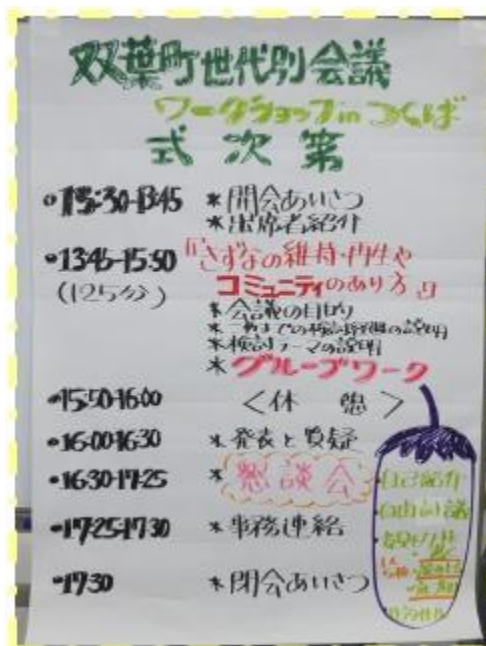
時間：13:30～17:30

場所：つくば研究支援センター B棟 2階 研修室B

（〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6）

参加者：町民 3名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。



ワークショップ風景



心はひとつ

広報誌の工夫

情報は簡略的に
「世代別会議」
→「町長が来る」

広報誌
激励メッセージ
はチラシに

重要なイベント
→主催者TEL

広報誌は
リードに工夫

回覧板

交流の場 CAFE

双葉を忘れない!!
共有できる
施設の設置

郡山の Cafe
自治会で立ち上げ

並木連絡所
交流の場ではない

お茶代 100 円でも
徴収する

交流の場
行政の施設×
Cafe ◎

日常的に
使える交流施設

連絡所に町民の
お知らせ

民間施設を
作ろう

電話帳

電話帳作成

双葉以外には
もらさない

下条では、
外に出さない
条件で作っている

町民運営の会議

町民が自ら意見を取
りまとめ町に出す

町民の中でまと
め役をつくる

ワークショップ形
式で意見を出す

ブロックごとの コミュニティ

ブロックごとの
コミュニティ
まとめる

ブロック
支部を作る

隣組が
交代で管理

となり組を作
りサロン運営

仮設住宅の場所ごとに
意見をまとめる

会場でのアンケート結果

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- ・副町長に会うため。
- ・多数参加の方がいいかなと思い（役場より参加の電話があったので）。
- ・双葉の絆をなくさないため。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- ・かなり出来ました。
- ・はい。
- ・なかなか思うように話せなかった。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- ・出来ました。
- ・はい。
- ・ある程度理解した。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- ・最高でした。
- ・自治会長を通じて、人数参加の声をかけてほしかった。
- ・参加者を多く集めることが必要（意見が反映されにくい）。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・町外拠点の充実が必要。

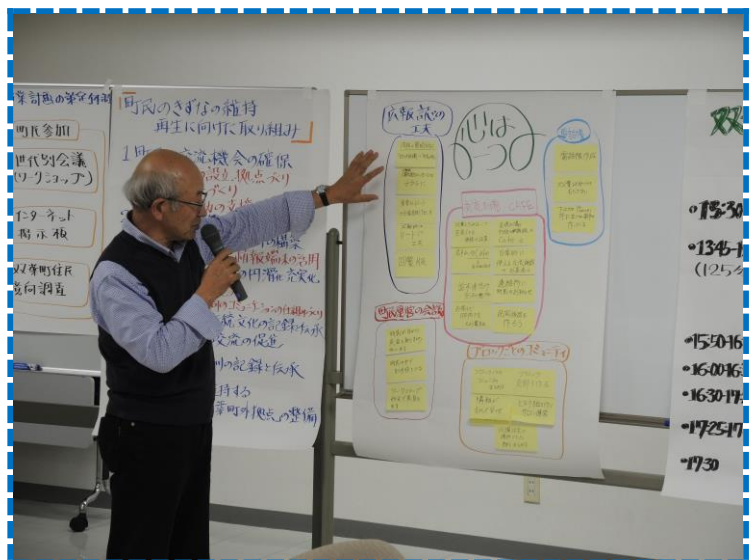
編集：双葉町町民世代別会議

ワークショップ・スタッフ

ワークショップ風景



(加須市)



(つくば市)



(東京都)

世代別会議東京会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第3回概要

開催日：平成25年11月17日（日）

時間：13:00～17:00

場所：全国町村会館 2階第1会議室

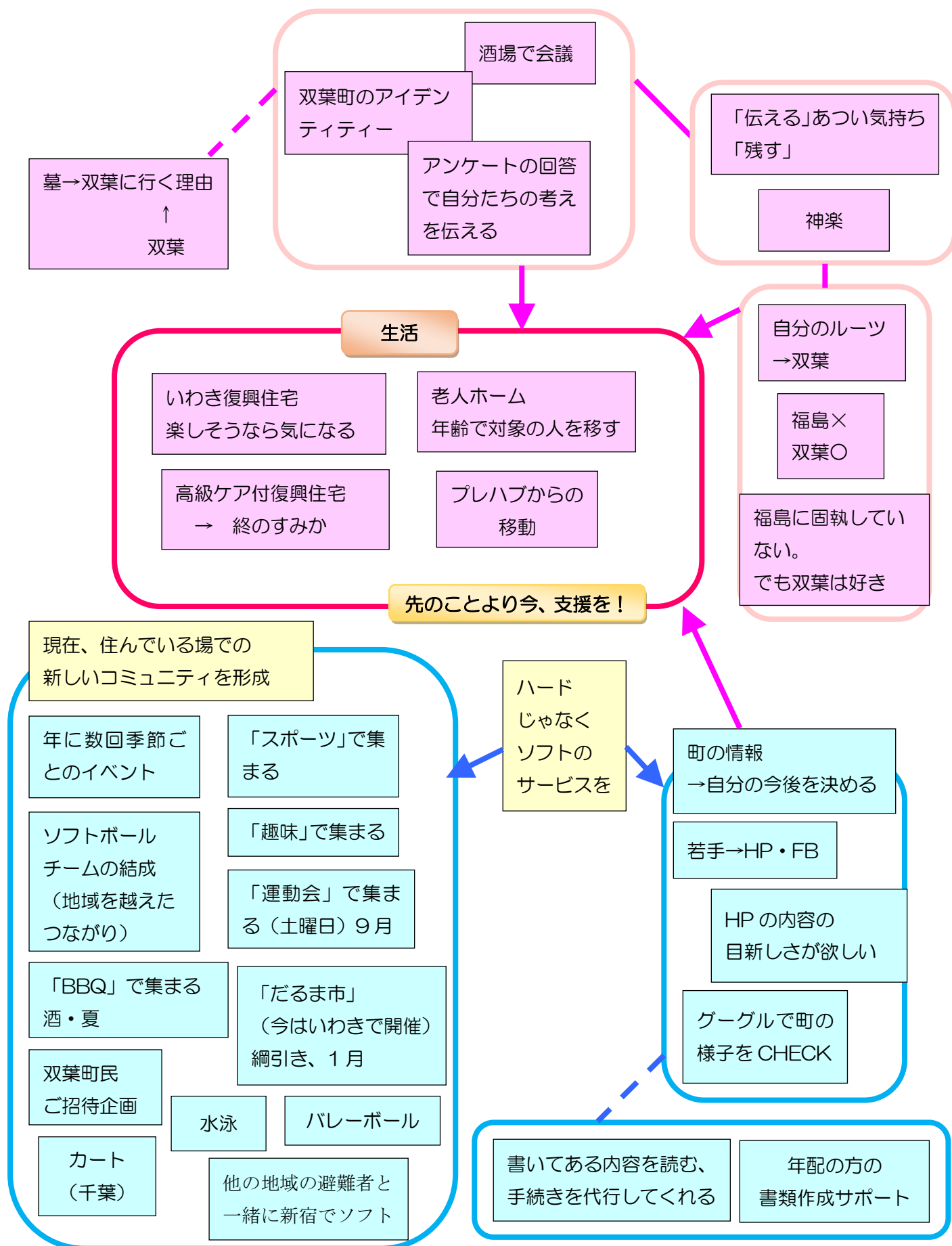
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-35

参加者：町民9名

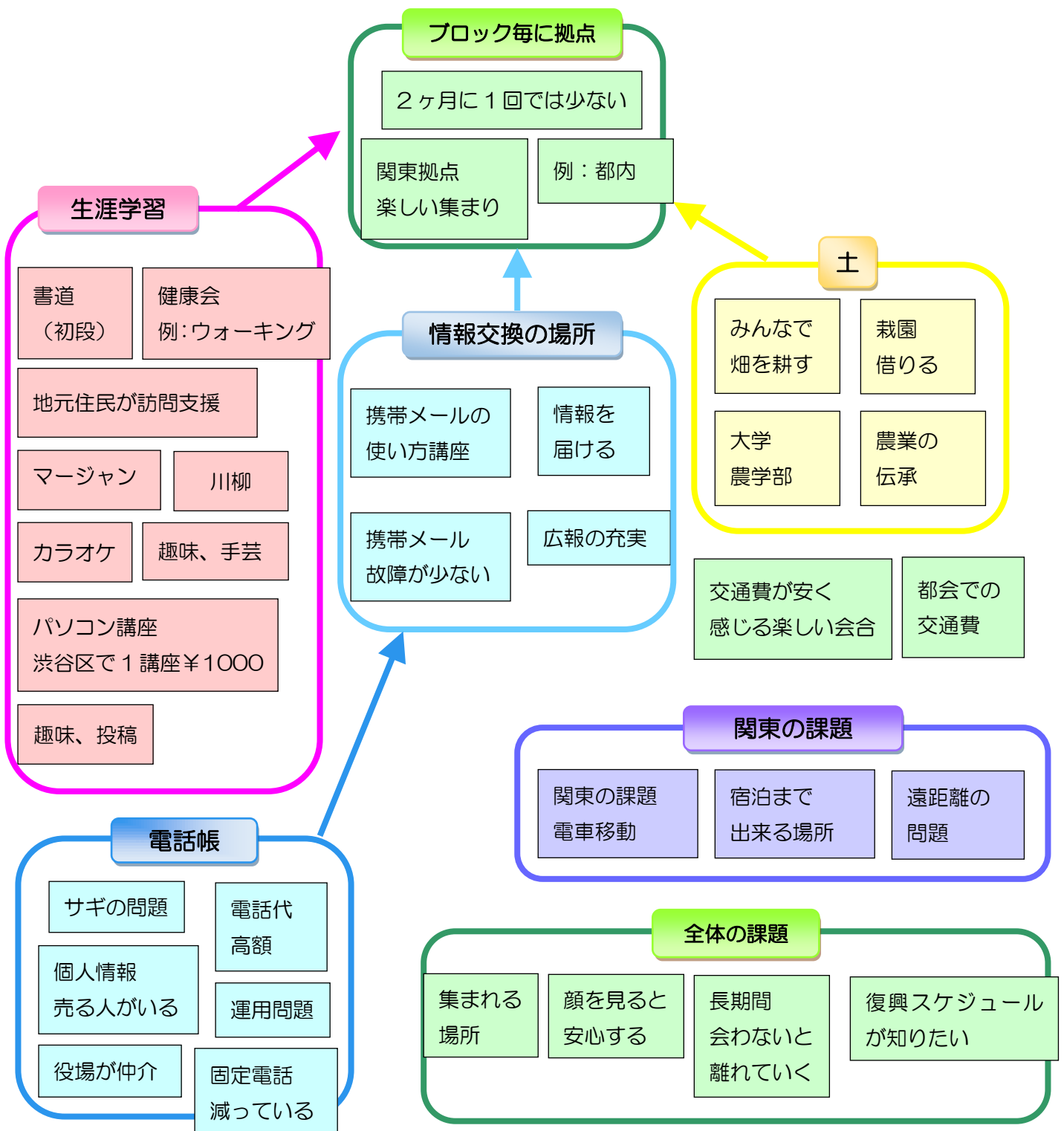
双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。



～今をよりよく生きるために～



んだべえ～



会場でのアンケート結果

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- ・役場の方から。
- ・多方面の情報を入手。
- ・町民に会いたかった。
- ・避難してきて2年8か月たち町民のみんなが、どう思っているか聞きたいし、町民との交流を深めたいと思って参加しました。
- ・双葉町のことが知りたい。
- ・町民(避難者)の意見を聞く。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- ・はい。
- ・少人数であったので十分できた。
- ・ワークショップでは、私は自分の意見を発言することができてよかったと思います。
- ・自分のことが言えました。
- ・十分ではないが、個別の問題になるのでやむを得ない。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- ・はい。
- ・理解しました。
- ・よく理解できた。
- ・町長と町民の懇談会では、町長が町民のことを思って話してくれて、特に住居のことで少し進んでいるようだ。
- ・有意義でした。
- ・町ひとつでの力はむづかしいので、郡の自治体と町民（約10万人いる）であらためて国へ要望することが必要か。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- ・これでOKです。
- ・情報だけは、これからも共有できるような、常に分析、評価、改善、チェックのPDCAを回して継続してほしいします。
- ・若い人たちの参加が必要。
- ・年に何回かのワークショップを開催し、もっと多くの町民が参加してほしいと願う。
- ・たいへんよかったです。
- ・一人でも多く参加を願う。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・一つひとつ改善して、少しでも前進して努力してください。
- ・賠償に対する不満大である。

編集：双葉町町民世代別会議
ワークショップ・スタッフ

世代別会議いわき市勿来会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第4回概要

開催日：平成25年11月22日（金）

時間：13:00～17:00

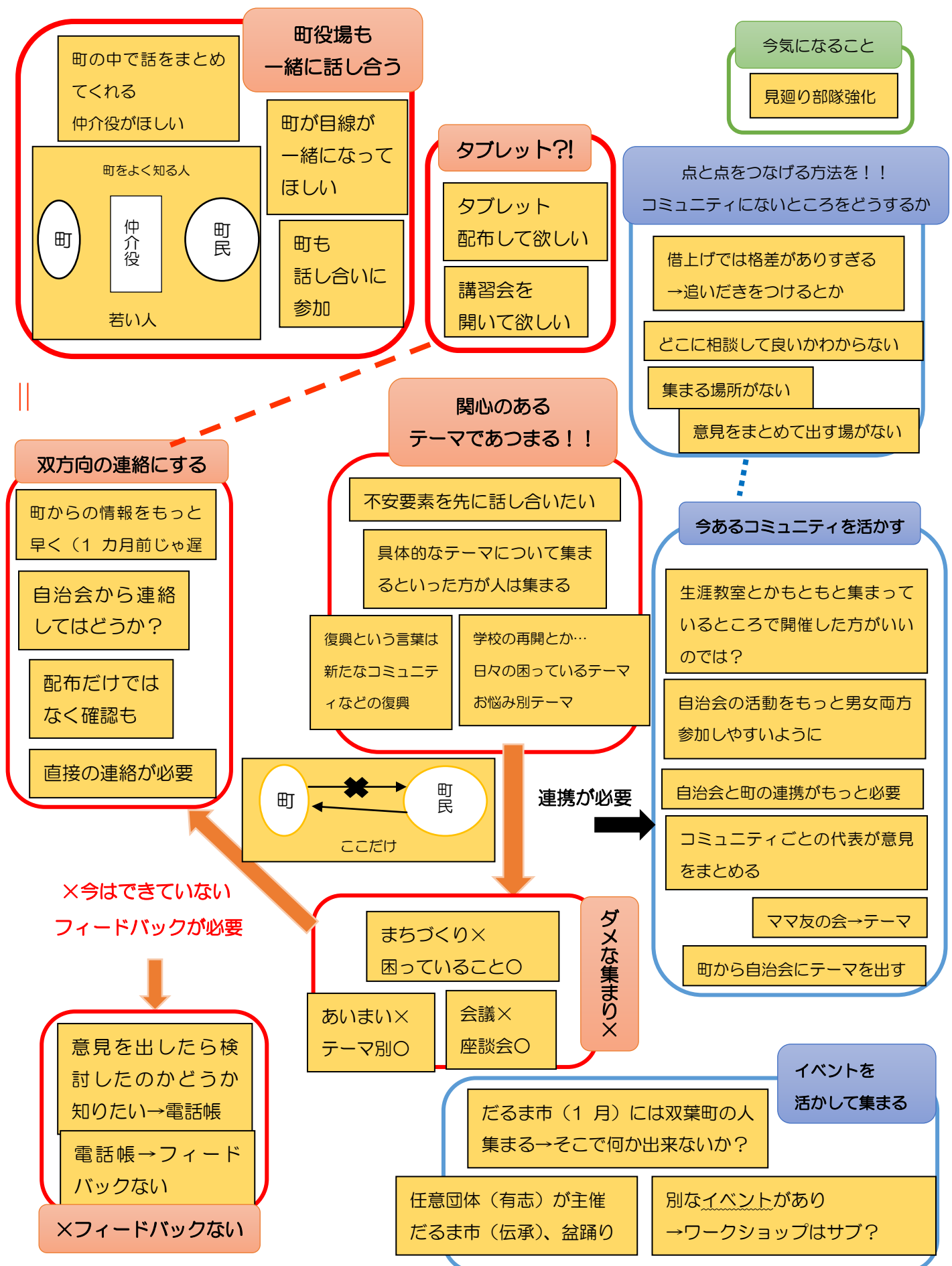
場所：勿来市民会館 大会議室

〒974-8232 いわき市錦町上川田 21

参加者：町民 13名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。





町の初動が遅い

要望が町長に届かない

要望に対する町からの回答が返ってこない

町へ意見を行う場がない

町のとりくみのスタートが遅い(双葉町)

復興住宅の場所を早く明らかにしてほしい

集会所は小さく始める

外から集会に参加しにくい(集会所の中の)

休日の方が集まりやすい

集会所がない

自治会を作してほしい

集まる場所が小さい

仮設と借り上げの仲が良くない

お茶のみ場
くらいの場合

小さな集まりから作る、
始めた方がよい(小さな集会所) 交流

連絡先がわからない

どこに誰が何人住んでいるか分からない

→連絡帳づくり(住所は?)

本人確認をとって名簿(電話帳)を作る

移動手段が必要

イベント等を実施する際にはバスを出してほしい

何をするにしても遠いのでお金がかかる

近くで健康診断を実施してほしい

役所に行くのに時間がかかりすぎる

情報が足りない

タブレットについて知らない

情報が知らされない(新しい避難所等)

地域(避難先の)が分からない

情報がない

情報発信が遅い

連絡所が必要

意見を伝える機会

会合が面白くない(特に初め)

会話がない(会合がない)

南相馬にも連絡所がほしい(言ったがだめだった)

連絡所が必要

役場から遠い場所ほど連絡所が必要

往路・復路も7:00~19:00に
してほしい(検問所)

通行時間が少し過ぎても柔軟に対応してほしい(検問所)

話だけではなく
実行が必要

検問所の対応が
日によって違う

会場でのアンケート結果

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- ・さそわれたから。
- ・役場の職員に参加を依頼されたからです。
- ・担当者に誘われたから。
- ・電話にて会議に集まると連絡がありました。
- ・町の意見を聞きたくて。
- ・町の考えをどうなっているのか。
- ・町みなさんがどのようなことを思っているか知りたい。
- ・皆様の話を聞くために。
- ・双葉町の今後のビジョンが見えてこない。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- ・話しすることができました。 ・できた。
- ・自分の意見はいえました。 ・おおむね。
- ・途中から入ったためあまり話せなかった。
- ・ギャラリーが多く、カメラもまわっていたため、ただただ固まってしまいました。
- ・それほど発言をすることはできなかった。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- ・理解できた。 ・よくわからなかった。
- ・理解できた。 ・あまりできません。
- ・おおむね。 ・理解できました。
- ・自分の意見によくこたえてくれました。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- ・ギャラリーが多すぎる。
- ・しきいを低く参加しやすい工夫をお願いします。
- ・女性スタッフが少なく雰囲気がとても固いです。
- ・もっと人を集めよう。
- ・交通の便もありますが、連絡取ることをできませんので、これからは役場からの話し合いもよくわかりません。
- ・なるべく多くの人が集まってほしかった。
- ・今後の会議に多くの人が集まれるようにしてもらいたい。
- ・この会議をした方がよいかと思います。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・もっと情報が行き渡るといいと思った。
- ・交通の利便性をよくしてください。
- ・老人が多いので車などで買い物などできるようにしてほしい。

世代別会議白河市会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第5回概要

開催日：平成25年11月23日（土）

時間：13:00～17:30

場所：ホテルサンルート白河 3階しゃくなげ

〒961-0856 白河市新白河駅前

参加者：町民 15名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。

ワークショップ風景



電話帳

電話帳は住所・TEL 番号すべての情報じゃなく教えられる範囲内で作っては？

交流会の場づくり

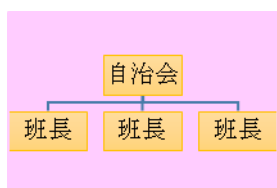
遠方の公共施設で開催する場合は、送迎バスを（特に仮設の方のため）

夏祭り
→借上げ、仮設を超えて集まれる場

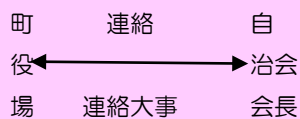
懇親会

班長には報酬を！

重要な情報は班長を使う



班長が1軒1軒まわる（重要な情報は）

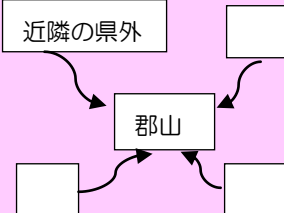


集会場作って
掲示板だけだと見ない人もいる

町民懇談会について

福島県で行うイベントすべてを県外の避難者にも連絡すべきだ。でない時は各県で行うべきだ

町民懇談会が県外に伝わらない
→せめて各県で双葉町民会を



現在の地区での新しいコミュニティの形成

前の行政区のしほりじゃなくて、新しい地区会も！

新しい地区でまとまり、情報も集まるように

支援

借上げ 仮設 持家
白河コミュニティ
→新しい地区長を！

現在
借上げ 仮設
→それぞれの会長の歩み寄り

新しいコミュニティに手厚いサポートを！！

町役場との情報交換

年 1,2 回の町長懇談

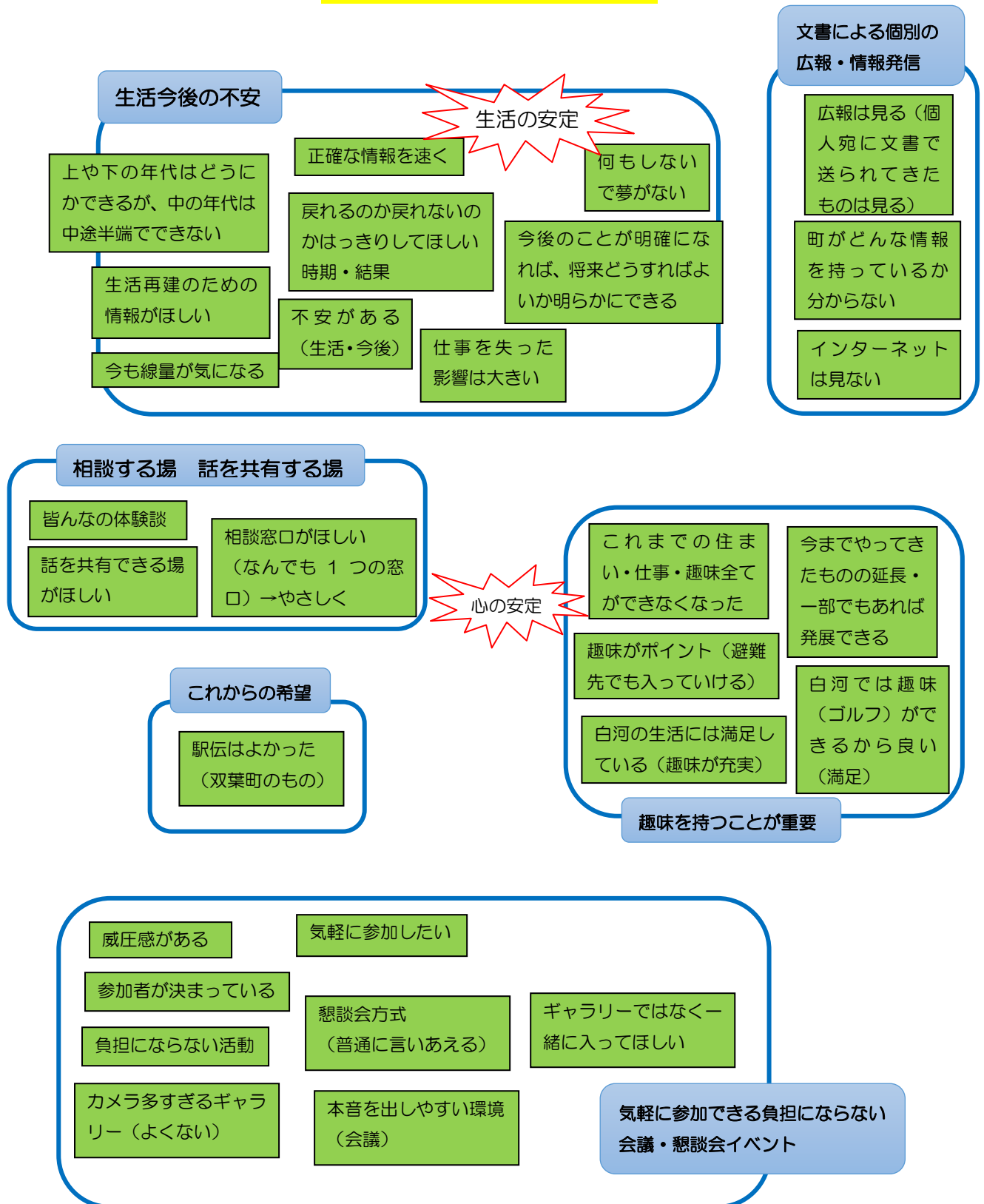
第三月曜日の定例会に町役場も参加
→現在 借上げ

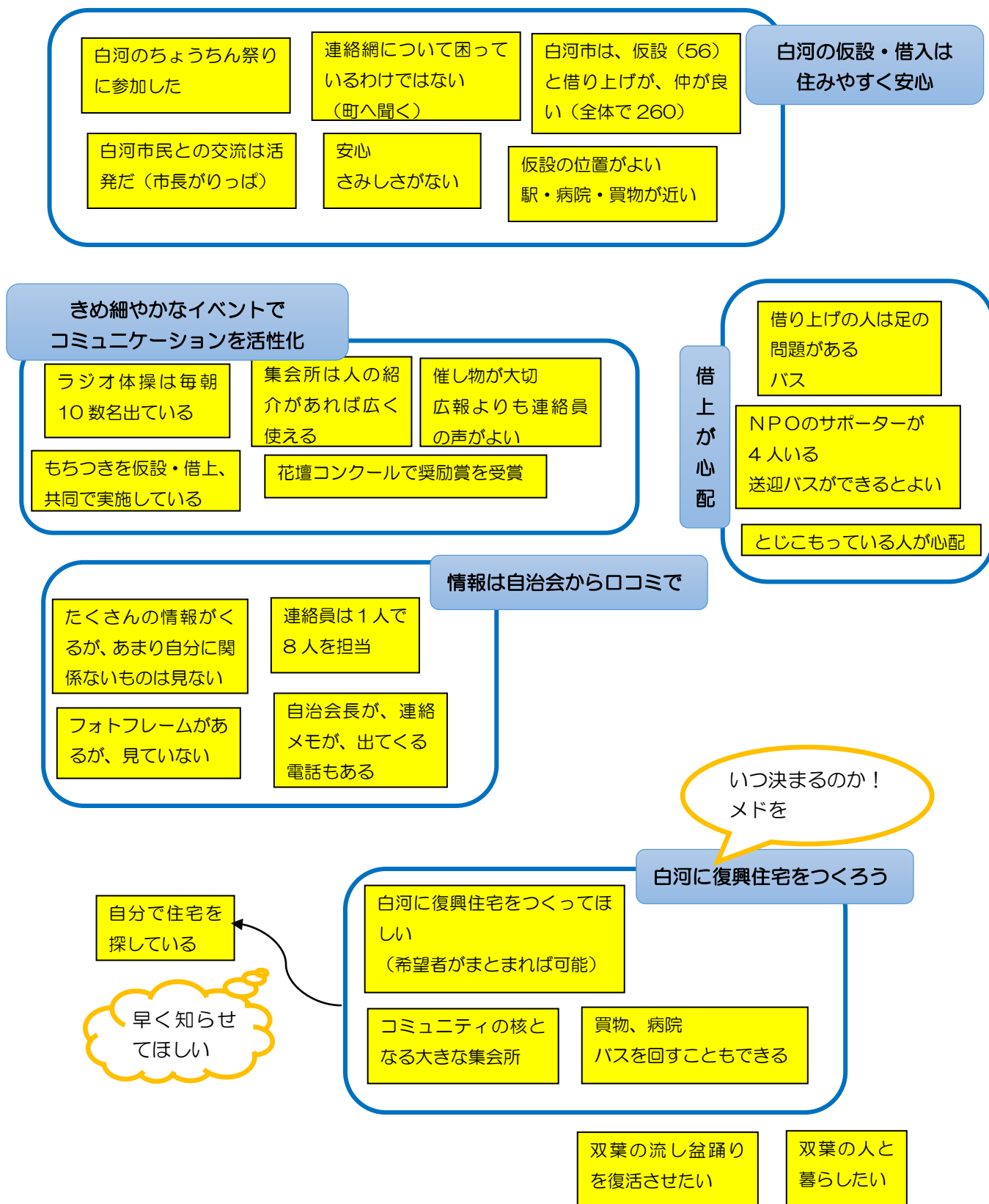
借上げ・持家+仮設



役場の??か
窓口「白河担当」

仮設に町役場が1人常駐





会場でのアンケート結果

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- ・自分の考えはたくさんありますが（よいも悪いも）、他人の皆様はどう考えをしているのか、知りたかったから。
- ・今後の町政について。
- ・町政との対話。自治会の活動、取り組みに使用と思ったので（原文のまま）。
- ・いろいろな情報は聞けるかと思った。
- ・自治会からの依頼で来ました。
- ・多くの人の話を聞きたいと思い。
- ・新しい情報が聞けるかな？と思ってきました。
- ・安全、快適に一時帰宅ができるかについて。
- ・町長様はじめ皆様の目的とかのお話を聞きに来ました。お会いしたいとの気持ちもありました。
- ・町の話を書く。白河に住んでいる人との会話がしたい。
- ・皆さんの考えを聞くため。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- ・もちろん。
- ・たいへんよかった。
- ・内容はよいものができたと思う。発言はうまくいかなかった。
- ・少し。
- ・会議に出席すると心構えがあって出てくれば、もっといい考えで発言できたかなと思いました。
- ・話せた。
- ・ほぼ発言できたと思います。
- ・自分の思っていることが、話をすることができたと思います。
- ・まあまあといったところ。
- ・半分以上はできました。話せました。
- ・できない。
- ・出来ました。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- ・わかりましたが、納得はしていません。すべて遅すぎませんか？
- ・よかった。
- ・説明よかったので、これからも町長と町民の懇談会を続けてほしい。
- ・今の町の考えが聞けてよかった。
- ・町長さんのお話を聞けてよかったです。
- ・少し。
- ・はい。
- ・町長と町民の懇談がスムーズに話ができて、町の取り組みが理解できたと思います。
- ・できました。
- ・うまく伝えられました。
- ・理解していますが、もどかしいところも多いと思いました。
- ・はい。
- ・出来ました。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- ・多くの方が参加するために、何をどうやるかを案内にもっと明確に記載した方が良い。そして「そんなに大変でない」「話を出さなくても聞くだけでも OK だよ」など「楽しくみんなとお話しませんか」をメインに出した案内文にしては。「ワークショップ」なんですか、それは？という人が多いと思います。
- ・会議のために再度確認して、参加者を募集したらよいと思う。
- ・参加した皆さんが、それぞれ話できてよかったです。
- ・もっと負担にならないように！気軽に参加。
- ・事務局？部外者？が多く（ギャラリー）、気軽に話をするには、どうなのでしょう。会議形式に慣れていない人は、話しにくい人もいないのでしょうか。
- ・できるだけリラックスした雰囲気の設定してほしい。
- ・町長との情報交換を持ってほしいです。
- ・今後の町を想うのは、いかがでしょうか。
- ・特になし。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・今回の会場は今後やめましょう。駐車場がないし。
- ・伊澤町長さんは、以前（前町長）と違って、我々市民を温かく見守ってくれていると、すごく感じた。
- ・自分は両親が体調が避難によって悪くなってきている。介護保険を利用していますが、自分自身ができることが限りがある。
- ・こうした場がまたあれば、またいろいろな人の思いが出ると思います。
- ・全市民が一日でも早く前に進めるように。
- ・カメラやビデオカメラのようなものがどれだけ必要なのですか。最小限にしてほしいですし、報道関係の方々がいるのが、参加している者としては、精神的な負担になるのではないのでしょうか。このような環境の中では、話は聞きたくても、参加したくないと思えるのではないのでしょうか。
- ・もし次回があるならまったく別のメンバーで集まりを持っても、面白いかと思います。
- ・高速道路の無料化がいつまで続くのか心配です。
- ・双葉町で、白河の双葉町の人数をどうお思いでしょう。

世代別会議郡山市会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第6回概要

開催日：平成25年11月24日(日)

時間：13:00～17:00

場所：JA郡山市会館 3階中ホール

〒963-8024 郡山市朝日2-14-7

参加者：町民 17名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。

ワークショップ風景



町民の自由も大切だが、
町役場は支援を要する人
には指導してほしい

“自由と選択”
完全な自由よりも選
択案を出してほしい

未来志向のビジョン

未来志向で

双葉町の将来ビジ
ョンがほしい

将来の住み方はひな形を出してほしい

もともとのご近
所さんたちと復
興住宅で暮ら
したい

畑をやりたい(庭付き)

みんなの(40人程)
意見が集まれば、公営
住宅は建てられる

仮設住宅の環境あ
まり良くない…の
に、復興住宅の間
取りも改善されて
いない

福祉サービス
商店をおいてほしい

住む人の年代によ
っては老人ホームのよ
うにしてほしい

収納・駐車場がほしい
間取りも！

トラブルは 24 時間
起きる→役場に頼り
切れない

住民間・家族内のトラ
ブル増@仮設住宅

管理人についてほしい(独居
老人の方々の見守りなど)

強い自治会をつくる

組織づくり、規約づくり
をきちんとしないと任
意団体になってしまう
→茶会にのっとり

自治会に入っていない
人は置いてきぼりに
なってしまう(情報共
有、見守りなどの面で)

自治会を行政区にする？

賠償の交渉窓口(⇒国)
は町だし、財源はどうす
る？(更なる行政区案に
よって)

役所は17時以降と休日
対応がない

広域の集会所をつくる

支所と集会所を
併設したい

住民同士、分散してい
てもつながっている仕組
みづくりが必要

「公共住宅の集会所」と
では集いが限定的になっ
てしまう→広域の人々が
集まれる集会所を！！

「町でやってい
る」となれば、誰
でも、いつでも行
きやすくなる

タブレット研修@カフェ

絆カフェで交流

避難民だけでかた
まっていると、やっ
かまれてしまう

郡山市民と一緒に
生涯スポーツ(避難
先地域と交流)

地域住民との交流
には地元へのあい
さが欠かせない

集会所(南相馬・福島・
郡山)などに足を運べば
「そこに双葉町がある」
ようにする

集まって何か(編み物、
民謡など)をやりたい
人はたくさんいる

絆カフェ(かんだん広
場)で集いの場で(借
上住宅のメンバー)

タブレットが必要&使い
方についての研修が必要
→教室からスタート

個別訪問(アナログ
な関わり方)が必要

タブレットが使えるか
どうか→年代は関係な
い 個別に対応

情報共有が止まってし
まう(電話をしたのに家
につなげていかない)

タブレットの写真編集
を用いたコンテストを
やったら楽しそう

元気どうかなどの確認で
いっぱい、生活設計に
たどりつけない(社協)

情報発信はタブレットで

もっと個別指導を！

情報発信&受信

町民をつなぐ方法がないから作っていく必要

情報は「まちのたより」が郵送されてくるが限られている。知りたくても問い合わせるところナシ→自治会長にまとめてもらって聞く

「まちのたより」は世帯主に行く？→登録すればくる？

部落ごとでしか連絡が回らないから全体に流すようにして！

双葉町の電話帳は公開したい人だけする→富岡や大熊は作っている

町は町としてまとめる気がある？→バラバラになりたくない→散って家を建ててしまっている

どこに誰が住んでいるのか分からないから知りたい

双葉町の復興がどう進んでいる？→情報が出てきていない

県外に行ってしまった人と会いたいと思う

手段

バスを出してほしいと要望を出している
仮設⇄広場

新☆双葉町構想

集まる場所

双葉町の広場・集まる場所がほしい
歩いていける距離がイイ

目的を作りたい
富士山登山

借上自治体（県中）250人入会

男の人同志旅行
自治会出してほしい

自治会のイベントを行う
↑町に入ってもらいたい

他町村の方々も遊びに来ている

女の人たちは集会所集まって話を毎日している

男の人たちも自分たちで会う機会を作しかない→町民の会う機会と情報網をつくる（借上）

・1月1回…定例会（農業センター、駐車場）120～130
・大月に「せんだん広場」集会所を自分たちで借りているNPO（武田薬品）←資金は年々カットされる

お年寄りの将来

1人の老人がどうなるか、という情報が載っていると安心できるから必要

1人、仮設に残されたら不安！バラバラになりたくない

子育て世代→借上（民生委員無）
お年寄→仮設（民生委員有）

成長した子どもたちのことを考えているのか

双葉を支える人の育成→子ども

子供たちの幼稚園について相談できるような人を町で雇ってほしい

双葉の将来がどうなるのかとても不安
→子どもと一緒に住めるか将来の設計ができない

次の双葉町を担う子どもたちの未来

まちをつくってほしい

国の方針が決定しないと町は動けないex）中間貯蔵

「双葉町」として1つでいたい。でも土地がない。特区として広野などにつくってほしい

双葉町・大熊町を合併するのはどう？

道路狭い、側溝に落ちそう

町長まわってきてほしい（お話ししたい）

悪天候の時、不安
屋根や道路の補強整備してほしい

公営住宅はいわきにも希望を出せるのか

復興住宅に入居する時、割り振りを相談してほしい

双葉は仮設の作り方が下手！

仮設と借上の自治会にWで入会はできない

災害救助法は「仮設」しか対応していない

町へのお願い！

会場でのアンケート結果

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- ・復興委員だから。
- ・お会いしていない町民の方の思いや意見を聞きたかった。
- ・一人では何もできませんので、少しでも話し合っ、町のため、自分のためにも考えて、行動して、すばらしい双葉町になるようにと参加させていただきました。
- ・皆様の話を聞くため。
- ・自分の考えを町(行政)の復興に反映してほしい。
- ・双葉町のこれからを知りたいため。
- ・双葉町の将来を知りたいため。
- ・今後の双葉町、どうなるのか。みんなの意見を聞きたくて。
- ・双葉町の行く末が心配。
- ・情報を知りたいため。
- ・双葉町を今後の方向に進んでゆくのか、情報がほしい。
- ・町の復興の進み具合を知りたい。町民の方々との話がしたい。
- ・双葉町復興がどう進んでいるのか。今後双葉町はどうなるのか。
- ・いわき市の公営住宅は、郡山にいても申込みできるのか。また、部落を中心にできるのか。
- ・町の将来とビジョンを具体的に知りたかったです。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- ・はい。
- ・スタッフの方がうまくリードしてくださったので、日頃思っていることを話せたと思います。
- ・話すことはできました。
- ・はい。 ・話せたと思う。
- ・思うことを話すことができた。
- ・思うようにできた。
- ・まあまあだったと思う。
- ・普通です。教育についての意見を言えた。
- ・まあまあ言えたと思う。
- ・雑談的なことは話をすることができるが、訓練が足りず話をする・・・。
- ・思うようにできなかった。
- ・あまり発言できなかった。
- ・なかなか発言できないから、皆様の意見を聞きました。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- ・なんとかしたい町長の気持ちが伝わってきました。
- ・町長さんの説明がとてもわかりやすく、希望が持てました。ありがとうございました。
- ・はい。 ・理解できました。
- ・町長の話聞いて、これからの先が見えてきたようです。
- ・新しい情報が聞けてよかった。
- ・はい大事なことばかりで理解できました。
- ・よくわかった。県、中央等の動きについての状態と同じ歩調で。
- ・理解できた。
- ・町長さんのお話しよくわかりました。
- ・少しは理解できたかと思います。

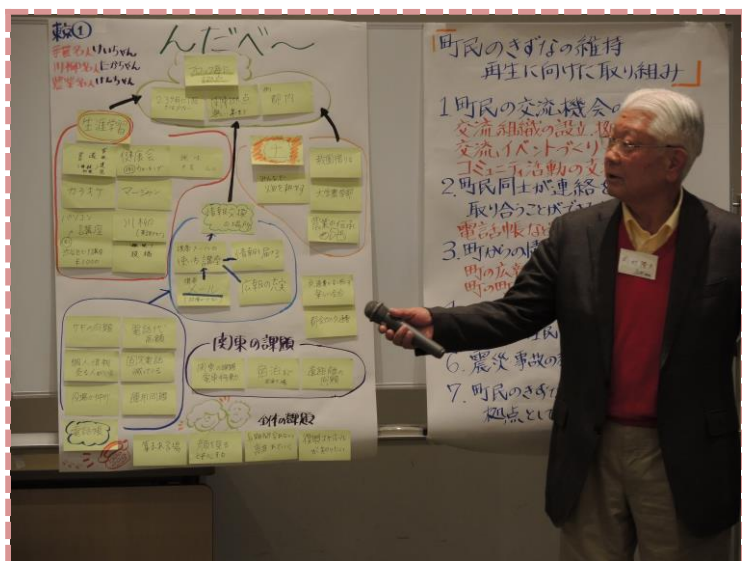
問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- ・雑談のようにできて良かった。
- ・何事も気楽に話せること。
- ・もっとアナログでよいのではないか。
- ・せっかく仮設住宅もあるので、ぜひそういう集会所を利用し、一人でも多くの話を聞いてほしい。
- ・場所が、仮設集会所とかでできれば。
- ・今後は続けてもらいたい。尚、仮設住宅で会議をしてもらいたい。
- ・エレベーターのない会場で、少しがっかりしましたが、安全な場所で小さい会場でもよいので、数を多くしてください。よろしくお願いいたします。
- ・町の発言だけでは参加者が少ないので、各自治会にもお願いして参加者を増やしてはどうか。
- ・もっと人が集まるようだといいなと思う。ある程度の情報を知っていれば、もっと議論になっていたと思う。
- ・各世代が集まったのはよかった。
- ・繰り返し行うことが必要。参加者をもっと増やすこと。
- ・こういう機会を重ねてください。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・町の方々、スタッフの皆様、お世話様でした。
- ・町政懇談を開催してほしい。ワークショップのような題名では参加者は少なくなる。懇談会の中身で、このように参加者に発言してもらうような内容にして行う。
- ・早くこれからの先が見えることを願いたい。
- ・一時帰宅する度、町が荒廃するので、早く将来的なことを知りたい。
- ・双葉の町民があまり来なかったので、がっかりしました。
- ・急に集まったので、自分の生活のレベルで話し合うかきめてあった。
- ・国の方針が決まらないと、町は進めない。国の方針を予想して、対策を検討しておくこと。
- ・復興推進委員会の活用が大である。
- ・双葉町住民は今ばらばらになっている。今後双葉町はどうなるのか、なくなってしまうのか。
- ・中間貯蔵施設等できた場合、6号線東側は国が土地を買い上げる様なことを新聞等で報じているが、もしそうになったら双葉町は終わりになると思う。

ワークショップ風景



(東京都)



(いわき市勿来)



(白河市)

世代別会議福島市会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第7回概要

開催日：平成25年12月6日(金)

時間：13:00～17:00

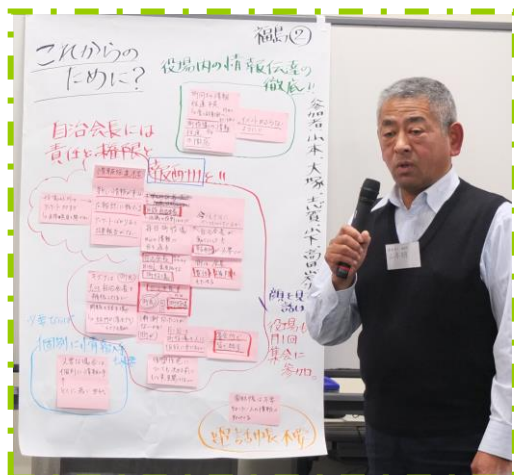
場所：福島県教育会館 2階 第一会議室

〒960-8534 福島県福島市上浜町 10-38

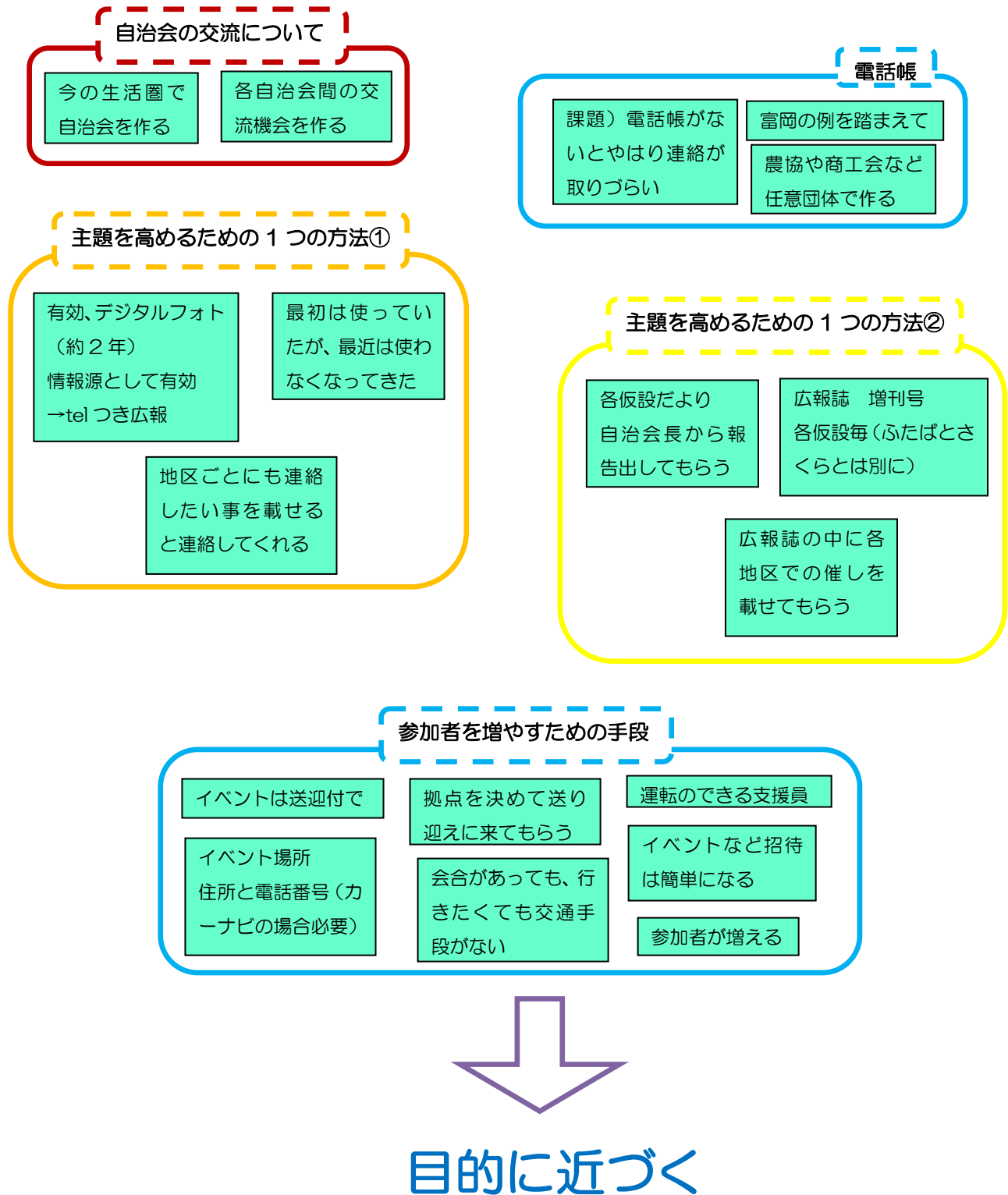
参加者：町民 24名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。

ワークショップ風景



コミュニティと絆の関係



双葉町町民の意識の高揚を図る

これからのために？

役場内の情報伝達の徹底！！

町同士の情報伝達不足→食と放射能同日にイベントあり

町役場同士の情報伝達の徹底

←イベントがかぶらないように！！

電話帳不要

電話帳は不要
知りたい人の情報は知っている

必要な場合は個別に情報入手
↑特に若い世代

必要ならば個別に情報入手も必要

自治会長には責任と権限と報酬を！！

役場の人々のアンケート多すぎ
→直接意見を聞いてほしい

情報伝達不足
新しい情報来ない
広報誌に頼っている

アンケートばかりあって、結果報告がない

キズナは町民
もっと自治会長を補佐してほしい

問題を話す場
→詰所（集会所）
キズナも参加

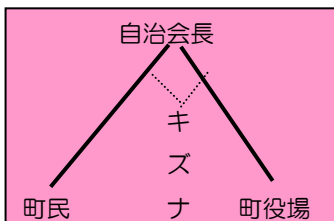
仮設自治会長
↑組織の役割ははっきりと

毎日町役場からの情報に目を通す

自治会長（今はボランティア）
月1回↓意見届ける
町役場

←今でも十分にやっているが
自治会長が動くにしても報酬が必要では？

町は会長
責任と権限をもたせる



1軒1軒回ったことがないかも！（町が）

月一回は町役場の人に仮設に来てほしい

復興住宅についても決める前にもっと意見を聞いてほしい

→集会所で皆で話す

顔を見て話しましょう！
役場も月1回集会に参加

若い世代が未来の双葉を創る

転校はダメ

長期間視野において
学校を設立する
(0才児から始める)

転校してもいじめがあ
って、学校を確保して
もしょうがない(何回
も転校している)

働く場がほしい

親が働く場所がないか
ら先に確保すべき

除染を早く

除染をいち早く進め、
双葉町へ戻りたい

除染の範囲を広
げてほしい

子どもを中心に未来を描く

☆子供の声を聞く
小学生
20代、30代
→明日を想う若い人達

孫には祖父祖母が一緒に
行く(その反対よりも)

帰りたいが子孫の
後々の生活が心配

復興会議
もっと若い人が集まりや
すいようにしてほしい

双葉町の伝統文化を
子孫まで伝えたい

子供に将来像
を書かせたい

町は住民との直接対話をもっと

町、議会は仮設
住宅へ来ること

町職員が仮設住宅
へ来て聞く(集會
所)

住民との対話が
一番大切である

土、日曜日を利用し、職員が聞
きに行く

胸の内を聞いてく
れるだけで良い

町長が来なくても
役場の職員がもっと
来るべき(自分の用事
のみではなく)

各自治会巡り
各仮設巡り(集會所)
→町から来るべき(頻繁に)

いち早い情報発信

広報誌では町からの一方
通行の情報でしかない
(ふたば月2回)

正確な情報をい
ち早くほしい

情報が印刷されていな
い(補償、除染の問題)
すでに終わった情報が
出ている

デジタルフォトフレ
ームは情報が一方的
で更新されていない

タブレットのやり方を
役場からもっと教えて
ほしい(今は自分たち
でやっている)

隣組さえどこにいるかわ
からない、電話帳もない

FAXを活用してはどう
か
緊急の連絡に便利(集會
所にFAXがある)

町民とのつながりがほしいべ！

計画を進めてほしい

高速道路無料化の継続

前に進んでいない

プロの意見がほしい

計画が進んでいない、急ピッチで進んでほしい

現在抱える問題・課題

家が狭くて（アパート）ストレス

別の地域ではひとごとになってしまう（双葉町の問題）

自立できるような支援は何かを聞きたい

道路の草刈りなどに対応してほしい

別の場所ですぐには商売を再開できない（競合も多い）

デジタルフォトフレームを面白く

見たい情報をのせる

電子回覧板のシステムがうまく機能していない（古い情報だけがある）

デジタルフォトフレーム
おもしろい写真を載せてほしい

デジタルフォトフレーム
やわらかい情報に興味ある→堅苦しいのでない

デジタルフォトフレーム
更新していない

若い人達はイベントは仕事があるから参加できない（平日日中）

飲みにケーションが重要

遠くに離れていると孤立する（富山など）

イベントの時間が悪い（若い人は日曜土曜日の夜がよい）

交流カフェの設置（各地）

全体（双葉町）の集まりがない

年代の高い人ばかりがイベントに参加するので若者は参加しにくい

町民友の会など集まる場（イベント）がほしい

埼玉のイベントで参加者が2人（情報が入っていない）

お正月・お盆の集まりで友達にこれまでのように会えない（近くにいないから）

曜日を決めて集まる（定期）

遠方だとイベント情報が分からない

情報が多すぎて見ない、見ても覚えていない（若年）

電話のはせて、住所は全部のせない方法を

誰がどこにいるくらいは知りたい（イベントを知らない）

電話帳作成が必要

携帯ばかりだと個人情報心配（双葉町は固定）

電話帳の整備・情報発信の方法を検討してほしい

イベント

若い世代→時間・場所を見直してほしい
上の世代→定期的な集まり、場の設置、気楽な集まり

町と町民をつなぐ（情報）役割が必要

復興支援員が各地で情報を伝える

遠くに離れていると情報がとれない（個人情報問題）

広報誌には生まれた人、死亡記事も掲載してほしい（特に遠方の人が必要）

今後の自分の方向が決められる情報がほしい（復興住宅など）

仮設と借上げが分断していて集まりの情報などが入らない

欲しい情報が伝わってこない

町と町民をつなぐ役割の設定・情報伝達方法・内容の改善

広報誌への要望

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- ・町の皆さんが今、どんなことを考えているのか知りたかった。
- ・町民の皆さんのお考えを聞きたい、共有することが大事と思った。
- ・町民の話を聞くために。
- ・町長に会いたい！！
- ・もっと現実的話し合いを。
- ・はっきりした情報を知りたい。
- ・話したいことがあった。
- ・町民の一員として、自分の考えを述べたかったから。
- ・双葉の方たちに会えること。
- ・いろいろ話をしたかった。
- ・双葉町への帰還が可能か否かを知りたい。いつ帰還できるのか。
- ・世代別会議を高めるために。
- ・いろいろなことを聞きたい。
- ・双葉町情報を聞きたいので。
- ・私たちはどうしてよいのか、町ではしっかりしてほしい。
- ・双葉町、町民が帰町したい。双葉町、永久に繁栄することを願うため。
- ・これからの町の情報を知るために。
- ・町の目的を知りたいから。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- ・初めはほかの人に圧倒されたが、だんだん話せるようになった。
- ・聞くことも大切で、互いに意見のやりとりができた。
- ・今まではうまく発言できなかったが、いろいろとアドバイスがあり、よかったと思う。
- ・出来ない！
- ・そこそこ。
- ・あまりできなかった。
- ・全員が意見を述べることができました。進め方も上手でした。
- ・あまりうまくできなかった。
- ・特定の人発言が多かった。
- ・絆の確認。
- ・出来ました。
- ・できました。思ったことを言えました。
- ・意見を話すことができました。
- ・よくわからない。
- ・意見を話すことができました。
- ・ある程度できた。
- ・でなかった。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- ・今後の方針を聞くことができた。
- ・出来ました。
- ・町長と話し合うことができない。
- ・なかなか話し合いが合わない。
- ・出来た。

- ・町でも話し合いをしていることが理解できたが、早急に自治会長の件はよい方向にむけてほしい。
- ・復興が遅れていませんか？教育長さんの熱意に感謝します。
- ・できた。
- ・わかりやすい説明でした。このような機会を多くしてほしい。
- ・よくできました。
- ・理解できました。復興が遅れていませんか。
- ・できた。
- ・町の取り組みについて、あるていど理解するが、まだ取り組みが足りない部分があるとかんじる。
- ・理解できない。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- ・もっとこれからの若い世代が集まれるよう、曜日、時間を考えてほしい。
- ・世代別というならば、土日曜日、時間帯を考えた方がよい。
- ・皆の話をきくこと。
- ・ひんぱんに住民対話。
- ・回答を早くしてほしい。
- ・若い人たちも参加できるように日程、場所に一考を。
- ・これでよい。
- ・会場の選定、日時をよく考える。
- ・コミュニティと絆を高めるために。
- ・またこういう機会をつくる。
- ・堀井会長さんのご意見と同じです。
- ・私たちは年も取っているので、少しでも早く解決してほしい。
- ・町の運営、計画を町民に発表し、町民の福祉をお願いします。
- ・町復興担当者が仮設の自治会を回って意見を聞くこと。
- ・時々お願いします。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・普段から町のことに興味があり、よく考えている人でないと、このような場では発言しにくいと感じた。もっと軽い形で町民の意見を。
- ・今後は町民懇談会のなかでも意見を聞いた方がよい。
- ・復興住宅の件。
- ・今日、話し合いしたことを実行してもらいたい。発言を生かしてほしい。進行役はゆっくりと話してほしい。
- ・町は情報をなるべく多く出してほしい。
- ・貴重な意見を聞きました。
- ・コミュニティと絆については、常に変遷を見ている。
- ・電話帳を早く作ってほしい。
- ・除染をいち早く進めてほしい。
- ・一時も早く、双葉町に帰宅したいです。
- ・放射能除染を完全に行うこと。そして全町民の帰町を願います。

ワークショップ風景



(郡山市)



(郡山市)



(福島市)

世代別会議南相馬市会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第8回概要

開催日：平成25年12月7日(土)

時間：13:00～17:00

場所：南相馬市市民情報交流センター 中会議室

〒975-0004 福島県南相馬市原町区旭町 2-7-1

参加者：町民 14名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。

ワークショップ風景



避難場所での双葉町民の絆を強くしたい

現 状

戻れるとは思っていない

借り上げ住宅に
は情報が少ない

すぐに自治会
を立ち上げる
のは難しい

こういう会合で
町へ伝える

双葉の情報は
ほしい

南相馬にどうい
う人がいるか情
報が少ない

今は直接役場へ
電話している

町へ住民の声を届けたい！！！！

電話帳を作る

まずは南相馬
だけの電話帳
を作る

商工会などを通じ、
電話帳を作っては？
(浪江の例もある)

グループを作る

南相馬には婦人
会がある

〇〇会をた
くさん作る

婦人会、13人
入っているけど
出る人決まる

〇〇会のリーダ
ーを大勢作る

〈例〉
婦人会長が町へ意
見を届けている

住民の声が届くようになる

リーダーが会の意
見を取りまとめ町
へ声を届ける

最終的に 137人
(去年)の意見が
届くようになる

会のメンバーが電
話帳をもとに人々
に声を掛ける

未来への一步

中間貯蔵ができる
ことでどこまで町
民が住めるか

町が合併などをして
区などになるしか…

除染する区域を国も行
政もなるべく小さくし
ようとしている？

双葉の未来に不安

3年も経つと怒る
気にもならない

あまり双葉町民とし
てこだわっていない

3年も経つと
あきらめが…

復興住宅はどうなっているのか

復興公営住宅の出
来る場所が知りたい
南相馬ならどこ？

南相馬は、いわき
の次に住みたい人
が多い（暖かいし）

車とかがないか
ら、集まる場が出
来てもこれない

本当は前の組の人
たちといたい

支所みたいのがあっても
良いと思う
今は郵送で書類をもらう

復興住宅とか出来
たら部落の人と住
みたい

仙
台
に
は
集
まり
あ
り

双葉会という仙台
の集まりには 30
人くらい人が来る

仙台だとボランテ
ィアで会合があっ
たり、茶会があっ
たりする

新しいスタートを！

まず、土地建物の買上げを

住宅・土地の買い
上げをしてほしい
次のステップにい
けない

5～10年後に戻れ
といわれても、ど
う生活するの？補
償を、まず

復興住宅も永遠で
なければ、今更引
っ越したくない

金が無ければ土地
も買えない（復興
が何のためか？）

双葉に建てた家を
戻してほしい

今、社宅に住んでい
るが、定年後はでな
くتهはいけない

「復興まちづく
り」の意味がわか
らない
避難の時から自分
でやっていたのに

補償も弁護も自分
のことは自分でし
よう、した方が良い

「自分のこと
は自分でや
る」という前
の町長の言葉
通りだ

自分のことは
自分で…

相馬では自治会が
ないから、どこに
双葉の人がいるか
わからない（集ま
ることもない！）

まとめる人がいな
いから、集まる機
会ない（婦人会は
あるけど、男性は）

婦人学級に月 1 回
参加している
今年になってか
ら、相馬でやって
いる

個人情報のせい
でどこに誰がいて
かわからないし、調
べられない

議員は来ない、
役場の人も全然

南相馬にはまとめる人がいない

南相馬・相馬にも双葉町民はいる！

足の確保がほしい

足の確保が必要

温泉に行く集まり等
あっても、南相馬から
は行きにくい
特に年配者

広報誌には重要な 情報を掲載

広報紙は世代関わら
ずみんなが読むので
便利。情報は必ず入れ
てほしい（最新）

復興住宅の場所

復興住宅がどこにで
きるのか不安…
山の上ではない所便
利（生活の便）な所

情報がほしい
便利な場所に

役場機能が必要！

南相馬で役場の
機能が必要！

住所変更の申請を郵
送でOKにしてほし
い（いわきまで行か
なくてはならない）

新しい情報はパソコ
ンまたは携帯なので
高齢者にはムリ！

情報を得るのが大変
（町から情報を得る
のはムリ！）情報が
こない！

町の情報をきちん
と伝える

高速道路もっ と使いやすく

高速道路無料の継続、
お願いします

申請期間が地区によ
って違う、短すぎる！

通行証の発行をもっ
と簡単に！南相馬は
優先されるべき！！

電話番号がわからない

電話帳はあった方が
良い（本人に確認・
同意がとれた世帯の
みで良いので）

誰がどこに住んでい
るのかわからない

電話帳が必要

南相馬で双葉町の人
に会うことはない

双葉で築いてきた
つながりがなくな
ってしまった

南相馬以外の人とはな
かなか会えない（郡山の
人と年2回くらい）

住宅環境が以前と比
べると不満（自然環
境、昼間でも電気をつ
けなければならない）

気持ちの上ではなか
なかつきりできない

現在、隣に住んでいる
人との関わりはない

遠方とのつながり・絆がうすれている、
生活のストレス

集会・イベントの改善

ひとりでは参加しに
くい！（特に高齢者）

老人会をやっても足
（交通手段）がない
ので難しい

以前は夜行っていた
が、今は土地に慣れ
ていないので昼間や
っている

仕事をしているので
ほとんど参加できな
い（平日）

婦人学級（月1回）
出席メンバーがほぼ
同じ、時々、町から
の連絡が来ない

役場の課ごとの行事を
一本化してほしい！

双葉町の人が集える
一定の場所が必要！

今は老人会がないの
で、婦人学級の参加
者は高齢者が多い

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- これから先の双葉町のことが心配だから。
- 少しでも町の状況を知りたい。
- 双葉町が前進する為。
- 今の現状が見えないため、少しでも詳細を知りたくて。
- 近隣住民との顔合わせ。役場との意見交換。
- 避難している皆様の話し合いをすること。
- 東電の情報を聞きたいから。
- よかったです、二回、三回と続けてください。
- 行政の考えを知りたいため。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- 自分の意見を発言できたと思います。
- 出来ました。 • できたと思う。
- だいたいの意見はまとまったかと思います。
- 皆様の前ではうまく話すことができなかった。今後、経験しながら発言していきます。
- 出来ました。 • みんなで出来たと思います。
- ちょうどよく発言できた。 • 今の時点ではできたように思う。
- 思っていることを言えた。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- 多少ですが。 • できました。 • できた。
- 国からの指示があるので、それに沿った作業しかできないというのは、住民の意見が聞き入れられないのが残念です。
- うまく話ができませんでした。まだまだ聞きたいことがあったのに、残念です。
- 理解できました。 • いまいち理解できない。
- なんとなく出来たと思う。 • 理解できました。 • 理解できました。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- 定期的に行ってください。
- 要望を叶えて実現してほしい。
- 頻繁に開催すること。
- 今後またこういう機会をしていただきたい。
- 会議の情報をもっとよく伝えてほしい。
- 一歩ずつ前進してください。
- 町民の意見を聴くことも大事だが、行政（町）としての考え方をもっと示してほしい。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- 建物、土地についての補償を急ぐこと。
- みんなと出会えて、とても良かったです。
- 南相馬にいる双葉の人々の情報がほしい。

ワークショップ風景



(福島市)



(いわき市平)



(いわき市平)

世代別会議いわき市平会場の結果について

～ きずなの維持・再生やコミュニティのあり方 ～

第9回概要

開催日：平成25年12月8日(日)

時間：13:00～17:00

場所：LATOV（ラトブ） 6階 会議室1

〒970-8026 福島県いわき市平字田町120

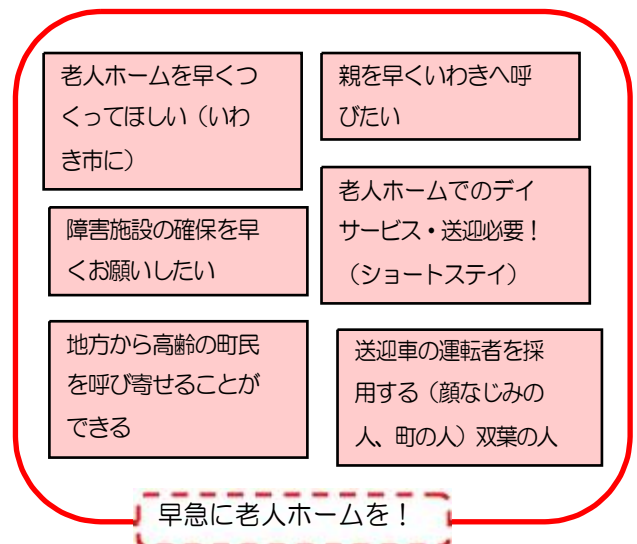
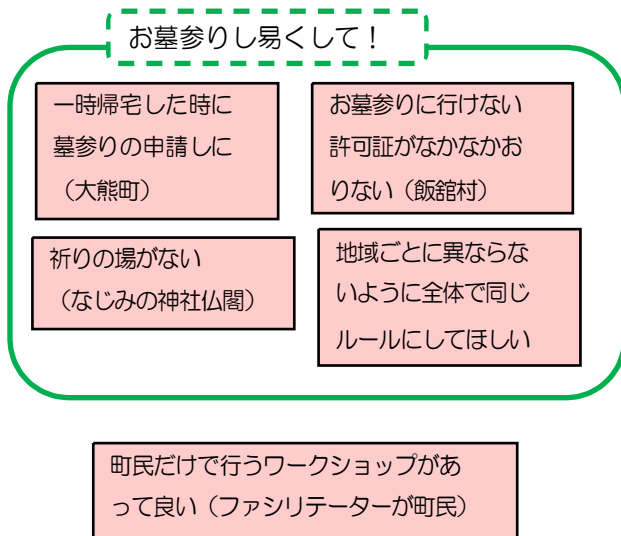
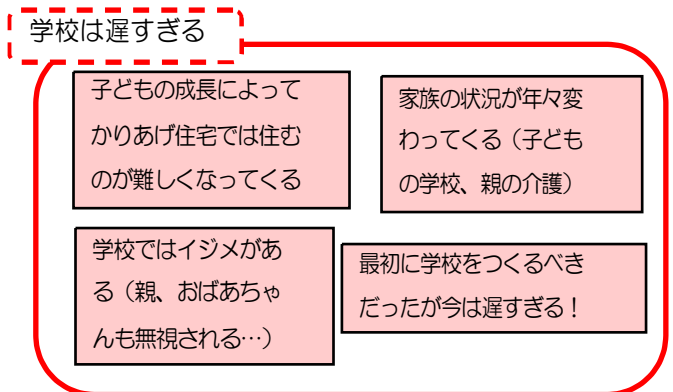
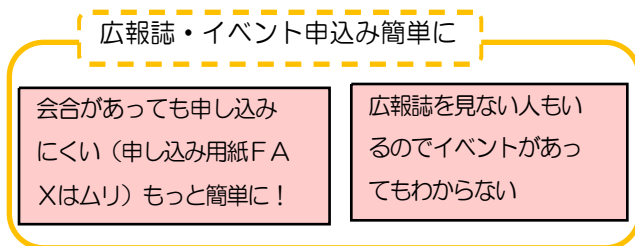
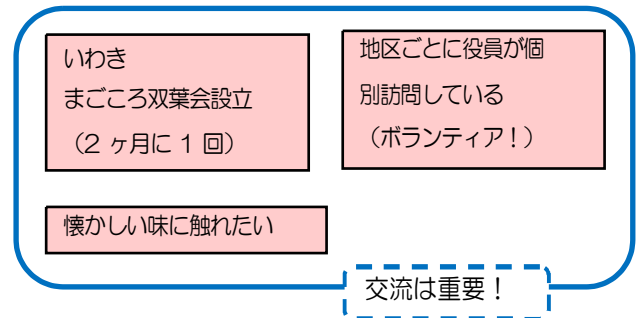
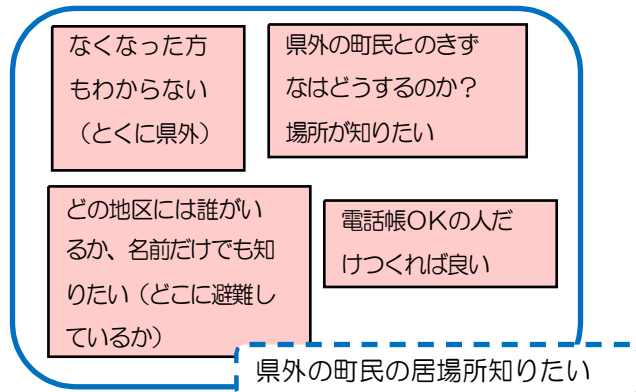
参加者：町民 18名

双葉町では避難生活の長期化に伴って、双葉町民同士のきずなの維持・再生や避難先におけるコミュニティのあり方が大きな課題となっています。これらの課題について、グループワークでは、ワークショップ形式で同じ世代の町民同士話し合い、解決の方法を討議しました。

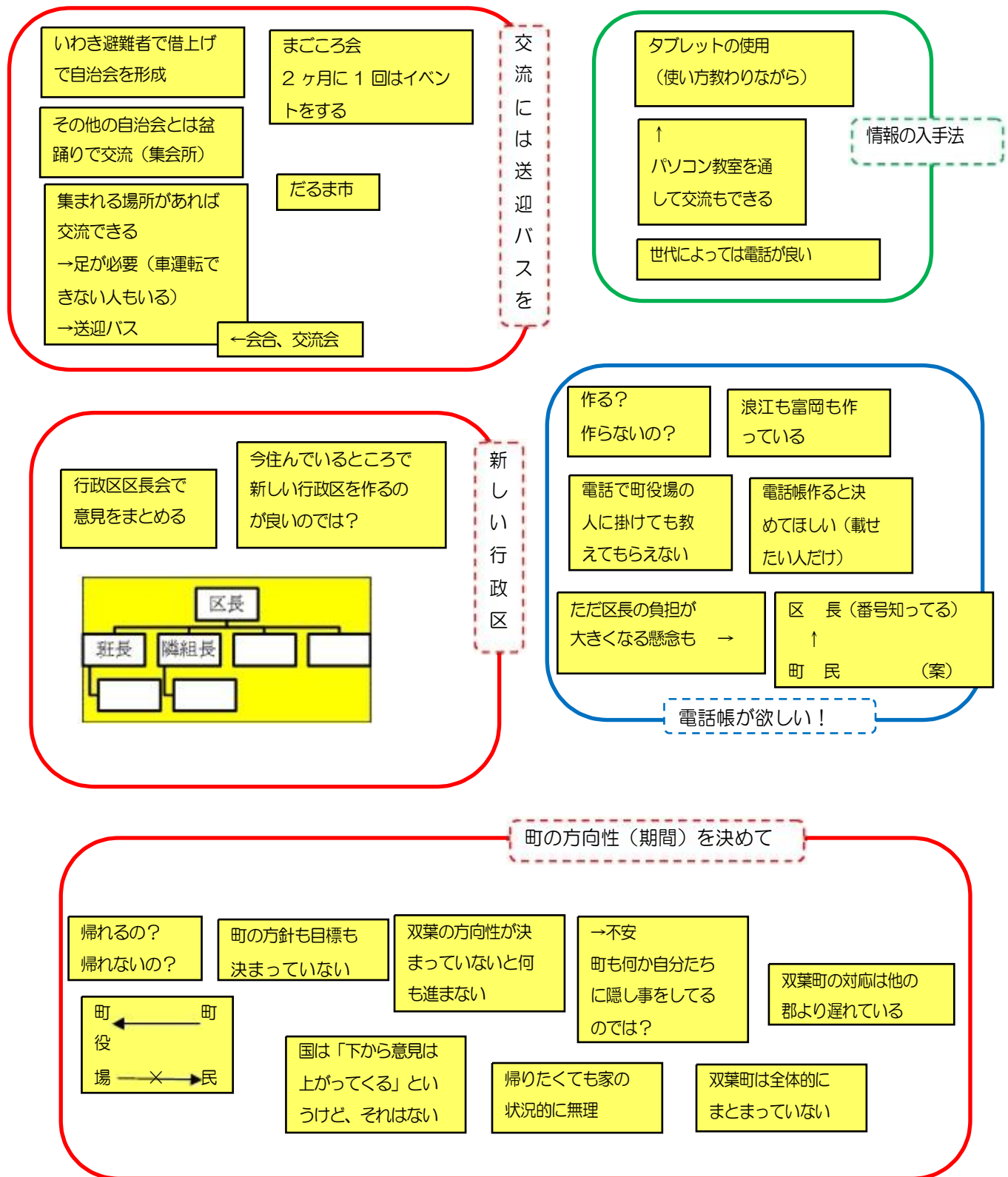
ワークショップ風景



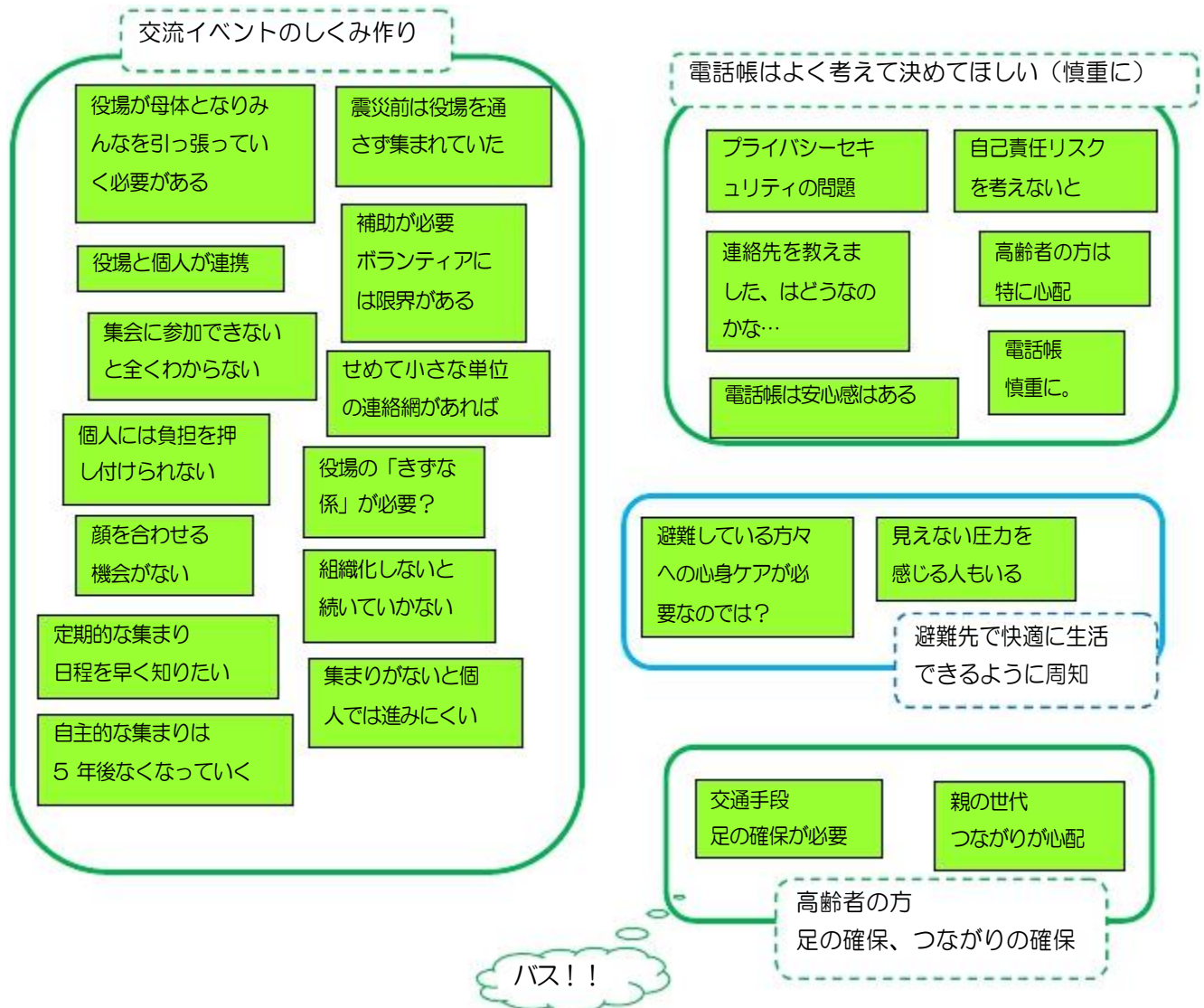
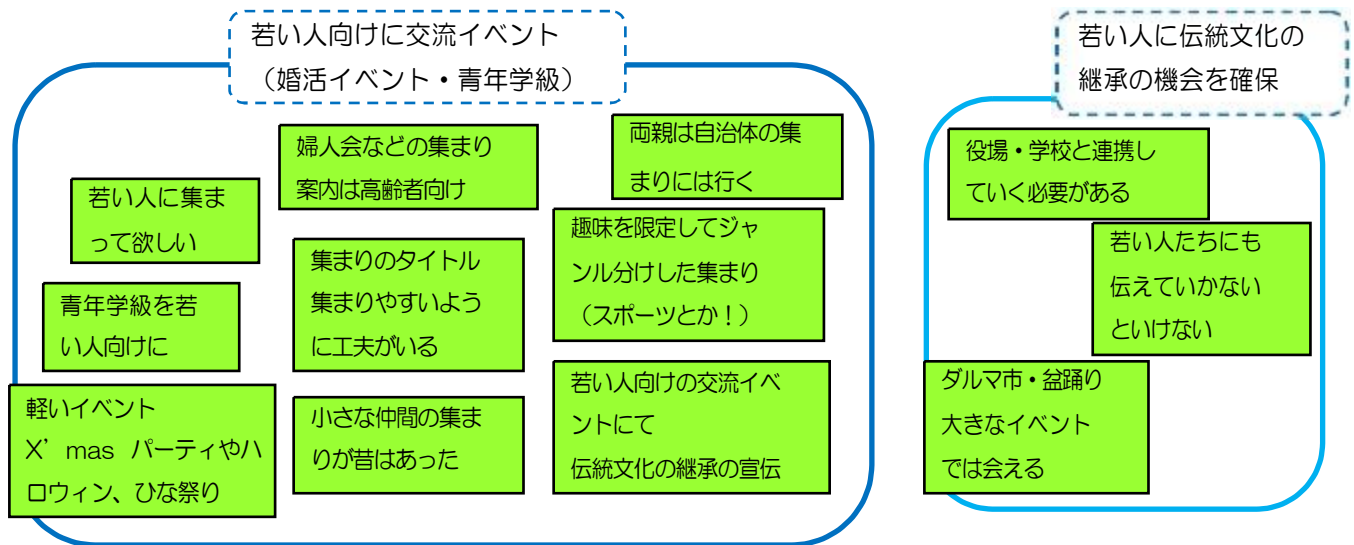
夢住（むす）んで拓いて



先輩たちは思う…はっきりしてよ。



次世代の双葉町づくり ヤングマインドチーム



会場でのアンケート結果

問1. あなたがこの会議に参加した目的は何でしょうか。

- ・町民の方々の意見を知りたかったためです。
- ・他の参加者の意見が聞きたかった。
- ・他の町民の意見も聞いてみたかった。
- ・自分の意見を伝えることができると思った。
- ・たくさんの方の意見を聴きたかった。
- ・すこしでも双葉町の復興につながればと思ってあります。
- ・今後の双葉町が不安であるため。
- ・町の人に聞いたから。
- ・町の意見をききたい。
- ・みんなの元気な顔を見れる。
- ・みなさんに会えると思い。
- ・町民に会う楽しみです。
- ・今の復興の状況と、これからの見通しについて知りたくて。

問2. ワークショップでは、自分の意見をうまく発言することができましたか。

- ・なかなか意見を言うことができなかったです。
- ・できた。
- ・はい。
- ・グループでいろいろな意見が出たので、自分もスムーズに引き出され、意見を出すことができたのでよかった。
- ・できました。
- ・思います。
- ・中井さん、佐木さんのリードにより、みなさんよく話せたようです。
- ・出来たと思う。
- ・町の動向。
- ・できました。
- ・半分くらいできました。
- ・自分の思っていたことをある程度話しできた。

問3. 町長と町民の懇談会では、町の取り組みが理解できましたか。

- ・町で行っていることが理解できました。
- ・できた。
- ・はい。
- ・よく理解できました。参加して良かったです。もっと多くの人に参加してほしい。
- ・できました。
- ・理解できました。
- ・出来た。
- ・少しは前進していると感じました。
- ・はい。
- ・はい、わかりました。
- ・だいたいできました。
- ・各年代別の件について、町長さんより明快で前向きな答えをいただけて良かったです。

問4. この会議をよりよくするためのご意見をお書きください。

- ・若い世代にも参加できるような情報を提供すべきだと思います。
- ・開催の情報が書類等だけの伝達より、直接顔を合わせての告示の方が、参加者が増えるのでは。
- ・仮設住宅の集会所に詰めている見回り隊の人達に各戸ひろめてもらうとかどうでしょう。
- ・もっとたくさんの方が気軽に参加できるようになるといいと思います。参加できてよかったので、これから声掛け努力したいと思います。
- ・もっと身近な会議にしてもらうためにも、仮設住宅の施設で行っては？ 場所の選定は難しいと思います。
- ・もう少し若い世代の方に声をかけて集まってもらうようにしたら良いと思います。
- ・返答ははっきりしてください。
- ・若い男女も聞く。
- ・いろんな意見が出た。
- ・がんばってください。
- ・会を重ねていく必要がある。

問5. その他、ご自由にご意見をお書きください。

- ・町民の方々の様々な意見が聞けて良かったです。
- ・自治会の存在を知らなかった。たぶんどこかでは告知しているのでしょうか、事あるごとに告知した方がいいと思う。
- ・それぞれの意見の違いがあるので、難しい面もあると思った。今回のように、ざくばらんな集まりだと、みんなにわかってもらった方がいいと思った。
- ・町長、教育長さんの詳しい話を身近で聞くことができ、大変心が強くなった。
- ・お疲れ様でした。たいへん勉強になりました。
- ・コミュニティはむずかしいです。維持発展を望みます。住民票の明確化。
- ・インターネットはタイムリーに進めてください。
- ・一日も早く帰宅できますように、予定変更ください。
- ・みなさんが早く元気になりたい。
- ・みなさんの意見が聞けて良かったです。

編集：双葉町町民世代別会議

ワークショップ・スタッフ